

教育委員会 コラム Vol.20

教育長室の窓から

○○教育の洪水



国際理解教育、金銭教育、がん教育、性教育、エイズ教育、情報教育、環境教育、エネルギー教育、消費者教育、キャリア教育、租税教育、触れ合い教育、福祉教育、ボランティア教育、心の教育、生き方の教育、健康教育、保健教育、喫煙防止教育、飲酒防止教育、薬物乱用防止教育、情操教育、安全教育、家族生活教育、災害（防災）教育、帰国子女教育、図書館教育、グローバル教育、市民（コミュニティ）教育、言語教育……

もう、15年以上前になりますが、私が校長のとき、○○教育について調べたことがあります。その時でも50以上の○○教育がありましたが、現在、まだまだ増え続けているかと思います。

学校は、宣伝費が安い割には、効果が大きく期待できるところですので、洪水のように様々な注文（各種コンクール、大会参加要請など）が、当時私の勤務していた学校に押し寄せていました。現在も変わりがないかと思います。類似したものも多いですが、一つ一つをとって考えると、確かにどれも重要なことですが、一つ一つに対症療法的に対応していくべきは学校は飽和状態になり、本来なすべき教育活動を見失ってしまいかねません。これは、教育職員の働き方改革にもつながります。

令和8年度の教育課程、教育活動がほぼ決まるこの時期だからこそ、学校と保護者、地域、外部の団体、行政などが連携を図りながら、学校の本来のあり方について考えることが必要かと思っています。

教育長の
ちょっといい話

Qubena（キュビナ）の効果？



「1年生も使いたいと言っています。」「校長先生、1年生でも使っていいですか？」

令和7年度に本町の全ての小中義務教育学校の2年生以上でA1教材（キュビナ）を導入しました。

当初、なかなか慣れずにいた子どもたち、先生方も使えば使うほどに「良さ」を実感しています。そして、子どもたちや先生方から「1年生でも使いたい」ということで、2学期から1年生でもトライアルしてもらっています。

キュビナの良さは、教科書と同じ内容の問題をキュビナのA1で個別最適に学習できることです。例えば、教科書掲載作品の読解問題や実験の題材や用語を一致させた問題など、細かい部分まで各教科書に一致しています。

鹿児島県では、まだ導入している自治体は少ないですが、全国では170以上の自治体、全国の小中学生の10人に1人以上が活用しています。本町の子どもたちも、全国の子どもたちにひけをとらない最先端の教材で、学習を行っています。

